

「元気発進！子どもプラン」事業評価票

平成	22	年度実施事業	新規	拡充	重点	継続
					○	

担当局/課	子ども家庭局・子育て支援課
連絡先	582-2410

政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり
------	----------------------

事業名	特定不妊治療費助成事業
-----	-------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	不妊に悩む夫婦が、経済的理由で不妊治療を断念することがないよう、医療費が高額な特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図ります。また、専門の相談窓口を設置し、不妊に関する様々な相談に応じることで、心身にわたる悩みを軽減します。	
	その結果、実現を目指す施策名	施策名	母子医療

目的実現の為に実施する内容【手段】	実施工程		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画変更理由			
		当初の予定	普及啓発の充実 講演会や交流会の開催	普及啓発の充実 講演会や交流会の開催	普及啓発の充実 講演会や交流会の開催	普及啓発の充実 講演会や交流会の開催	普及啓発の充実 講演会や交流会の開催	普及啓発の充実 講演会や交流会の開催			
		これまでの進捗状況・今後の予定	助成額の拡充 情報誌の掲載、ポスター掲示 講演会や交流会の開催	普及啓発の充実 講演会や交流会の開催	普及啓発の充実 講演会や交流会の開催	普及啓発の充実 講演会や交流会の開催	普及啓発の充実 講演会や交流会の開催				
	実施状況	成果・活動指標（上段:指標名、下段:指標設定の考え方）					平成22年度	平成23年度	目標		
		助成件数					計画	—		年度	
		不妊に悩む夫婦が経済的理由で不妊治療を断念することがないように、助成することが必要です。					実績	553 件		内容	
							達成度	%	%		
		相談件数					計画	—		年度	
		不妊に関する様々な相談に応じ、心身にわたる悩みを軽減することが必要です。					実績	363 件		内容	
					達成度	%	%				
コスト					事業費	89,948 千円	75,278 千円				
					うち一般財源	45,961 千円	37,641 千円				

事業の実施結果・進捗状況の確認	
実施結果	22年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 公費助成額を拡充するとともに、情報誌への掲載、公共施設や交通機関等におけるポスター掲示など不妊に関する情報の普及啓発に努めました。その結果、特定不妊治療費助成の申請者や相談者数が増加しました。

事業の再検証

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4:高い 3:やや高い 2:やや低い 1:低い	4	不妊に悩む夫婦に対して、経済的負担や心身にわたる悩みの軽減を図っており、事業の有効性は高いです。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。		4	助成内容は国の要綱に基づいて実施しています。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。		4	不妊治療を受ける夫婦が増えていることから、経済的負担の軽減と周囲の理解を深めるために施策として重要です。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか。市の関与をなくすことはできないのか。		4	国の実施要綱において自治体の実施主体となるよう規定されています。また、不妊治療に関する理解を深めるためには、市としての関与が必要です。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ウ	特定不妊治療を受ける夫婦が増加しており、制度の認知度は徐々に広がっていることから、今後も事業の周知を図っていきます。また、不妊に関する相談者も増加しており、相談内容も多様になっているため、相談を受ける専門職のスキルアップや不妊に悩む方の交流会等を実施し、事業を継続します。

【次年度計画】		
目的実現のために23年度に実施すること	不妊に関する情報の普及啓発に努めるとともに、相談窓口の充実を図ります。	前年度に評価した 今後の方向性